

# Kinān

確かな未来へ、安心のネットワーク

JA 紀南  
JAふれあい広報誌



2  
2025  
No.262

Kinān  
2025  
No.262  
2



表紙の人 那須 麻綾さん



## 紀南特産でおもてなし!

2,500 人の来場者で大賑わい 第2回 JAマルシェ

JA 紀南は 12 月 8 日、白浜会館と町立総合体育館で JA 共済の協力のもと「第 2 回 JA マルシェ」を開き、約 2500 人の来場者で賑わいました。旬のミカンや野菜、梅干し、切り花まで、紀南特産の品々をドカッと揃えておもてなし。宮本李菜 PR 大使も駆けつけ会場を盛り上げました。

女性会による寄せ植えやキャンドル作りなど 8 つの手作り体験コーナー、子どもが楽しめる射的や青年部のコイン落とし、健康コーナー、ガラガラ抽選会など各ブースとも長い列ができていました。

芸人ショーは、坂本冬休みさんによる歌やものまね、かつみ♡さゆりさんのトークショーで大盛り上がり。梅の種飛ばし大会やお菓子・お餅まき大会も好評で、地元の農産物と JA を消費者や住民にアピールできイベントは大成功でした。



宮本 PR 大使(右)も紀南ミカン「天」をアピール



狙いを定めておもちゃゲット!



長蛇の列ができた野菜の詰め放題



「かつみ♡さゆり」さんと「坂本冬休み」さんのショーは大盛況! 来場者は歌やお笑いを満喫



3 種目の競技を体感した JA 共済の「ちょいむずチャレンジ」



入りそうで入らない、青年部のコイン落としゲーム



女性会の体験コーナー「米袋バッグ」を作る参加者



模擬紙幣で 10000 円を当てるゲーム



子どもから大人まで 30 人が出場した梅の種飛ばし大会。最高記録は男性の部の 9 粒 5 秒

VEGETABLE OIL INK この色は環境保護のため、植物性インクで印刷しています。

JA 紀南 公式ホームページ <https://www.ja-kinan.or.jp/>  
Eメールアドレス [info@ja-kinan.or.jp](mailto:info@ja-kinan.or.jp)

Kinān No.262 2025年2月号 令和7年1月14日発行  
● 発行所/紀南農業協同組合 〒646-0027 和歌山県田辺市朝日ヶ丘24-17 ☎0739-23-3450  
● 発行人/代表理事 組合長 山本 治夫 ● 編集/経営企画部 ● 印刷所/自治会印刷所(株)



JAグループ  
梅の魔法 かんたん梅料理  
耕そう、大地と地域のmiraい。

- 新JAの地域選出役員決まる・・・4
- 令和6年産ミカン年内総括・・・4
- ミカン狩りに516人受け入れ・・・6
- 青年部がNISA勉強会・・・7
- 女性大学きらっと13期生が卒業・・・7

表紙の人

なま  
那須  
まあや  
麻綾さん  
(23歳)  
JA職員

田舎と自然と美味しいものが好き

休日は友達とカフェに行ったり、自然巡りをしています。山や川が好きですが、夕方は海辺のサンセットも捨てがたいです。よく「都会にいてそう」と言われますが、実は根っからの田舎者。たまに都会に出てショッピングや街並みの散策を楽しむのも好きです。高校からスポーツや大学進学をきっかけに地元を離れていましたが、やっぱり和歌山は素敵なおとこですね。大好きです。

今はJAの広報を担当しています。小さい頃からこの紀南誌が毎月実家に届いており、「今月はどんなお姉さんが載っているんだろう」と楽しみにしていました。まさか自分が編集する立場になり、表紙を務めさせていただけることになるなんて——。最近はイベントや紀菜柑で声をかけてくださる方も増え、とてもうれしいです。

撮影日記

12月27日、白浜町の平草原公園で寒く風が強い条件での撮影でした。鮮やかなサザンカが咲いており、緑とピンクのコントラストとモデルさんの笑顔が素敵でした。



自分に何があっても、この子の未来を守りたい。

もしものときの、頼れる保障。

みちびき

JAの定期生命共済(減額期間設定型)なら、ライフステージに応じた必要十分な保障をお手頃な共済掛金で備えられます。

くらしの保障、相続するなら

JA共済

※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。  
■JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>

2468100044

農を耕し、  
地域を起こす

シリーズ  
あぐりびと

《No.125》

# 農人

白浜町中  
(とんだ支所管内)

よしだ  
ゆきひろ  
吉田 幸弘さん  
(65)

長年勤めたSE(システムエンジニア)の仕事は早期退職し、農業を手伝い始めた吉田幸弘さん。「田舎暮らしはのんびりしたイメージがあったが、暇がないわ」と笑う。とんだ地区と本部レタス部会長としての顔も持つ。おすすめの食べ方は「レタシヤブ」だ。

新鮮で良質なレタスを届けられるようにと励む吉田幸弘さん



## エンジニアから実家の農業へ レタスや水稲、マメ類を栽培

50歳で退職したのを機に実家の農業を手伝い始めた。レタスや水稲を中心に季節ごとの作物を栽培している。

スイートコーンの「ゴールドラッシュ」や、エダマメにソラマメといったマメ類まで野菜の世話に忙しく、「なかなか暇がないな」と笑う。JAの「直販所あげみち」にも出荷し、お客さまの中には「吉田さん、今は出荷ないんか？」と直接連絡をくれる人もいるという。

就農前は大阪府内の会社でシステムエンジニアとしてソフトウェア開発に携わってきた。「これからはコンピュータの時代」と選んだ道だった。夢の中にプログラミングのロジックが出てきたこともあったという。

ソフトウェアがうまく作動するのが常に心配は尽きなかったという。

「何でも突き詰めて考えるのが好きな性分なので、自分に合っていた仕事だったのだから」と振り返る。帰郷後は親の農業を手伝いながら、10年ほど前から「レタスの合間にどうか」とのJAの営農指導員のすすめで、エダマメやソラマメを作り始めた。

年中、共に休みなく働いてくれる妻・佳寿さんへの感謝も口にする。「妻は初めの頃は農業に抵抗もあったようだが、助けてもらえてありがたい」と。

令和4年からは、とんだ地区と本部でレタス部会長を務めている。「若手の生産者もいるが、まだまだ少ない。『とんだ』もそうだが、後継者不足に悩んでいるという話は周辺でもよく耳にする」と産地の継承を課題にあげる。

今年産のレタスは暑さで生長が早かったため型崩れも発生した。ヨトウムシやカタツムリといった害虫の対処にも苦労している。レタスの収穫は3月上旬までで、その後はすぐにスイートコーンとエダマメ

の準備が待っている。晴れや雨が続きたり、気候も寒さ・暑さなどの極端な変動など悩みは尽きないが、「新鮮で良質な作物を届けられるよう、こまめな水やりや防除に努めて頑張りたい」と前向きにとらえる。

このほか、温室で洋ランの「カトレア」も600鉢ほど育てており、「手間がかかる分、育った時の喜びも大きい」。以前は「直販所あげみち」にも出荷していたが、今は多忙のため出荷ができていないという。

今の目標は、とにかく体を休めてゆつくりできる時間を作ること。

主力品目の水稲とレタスも「今後は夫婦2人でちょうどよい面積に減らしたい」と考えている。「頑張りすぎないように暇を作りたい。ゆつくり体を休めて、できたらヨーロッパにももう一度行ってみたい」「いつか船旅で世界一周もしてみたいなあ」と2人の夢は膨らむ。

産地後継人として、妻の全面協力を得て全力で走り続けてきた吉田さん。ここで一度、ささやかな一休みをし、また農業にがんばる。そんな時の訪れを思いながら、今日もレタス畑に通っている。

(文・写真)宮本輝華

# 地域選出の理事・監事決まる

## 新JA設立委員会で選任

**県1JA合併**

新JAにおける地域選出役員が決まった。紀南区域（現JA紀南）の役員定数は理事5人、監事1人で、理事会や地区運営委員会連絡協議会等で協議を進め、それぞれの候補者を選出。12月18日、和歌山市のJAビルで開かれた新JA設立委員会で選任された。専務や常務など学識経験理事は1月に選任される。

新JA全体の理事定数は55人、監事定数は12人。内訳は地域選出理事34人、青年部推薦理事2人、女性組織推薦理事2人、学識経験理事17人、地域選出監事8人、学識

 北川佳子さん (全域・女性理事)	 山本孝一さん (富田川ブロック・理事)	 坂本和彦さん (田辺ブロック・理事)
 尾崎謙二さん (全域・監事)	 丸谷和樹さん (大辺路ブロック・理事)	 志波元昭さん (田辺ブロック・理事)

経験監事3人、員外監事1人となっている。紀南区域から選出する役員6人については、理事会、監事会、女性会で協議を進め、候補者を選定。これを受け、11月27日に開いた地区運営連協で協議され、理事候補者として坂本和彦さん（田辺ブロック）、志波元昭さん（同）、山本孝一さん（富田川ブロック）、丸谷和樹さん（大辺路ブロック）、北川佳子さん（全域・女性）、

監事候補者として尾崎謙二さん（全域）を選出した。通常、役員の選任は総代会での決議事項だが、合併初年度については設立委員が選任することとなっており、任期は令和8年度の総代会までとなる。

組合長、副組合長は、各地域から選出された理事候補者の中から新JAの理事会で決定する。また、学識経験役員（専務・常務・地域本部長・常勤監事）については、1月の設立委員会で選任される。

**理事会だより**

第11回（令和6年12月20日）

【協議事項】

議案第100号 令和6年度上半期 監事監査指摘に対する回答について

議案第101号 2024年度上半期 ディスクロージャー誌の発行について

議案第102号 信用事業方法書の廃止について

議案第103号 組合員出資口数減少の承認について

## 「思ったより無い」と生産者 高温やヤガが生産量に影響

### 令和6年産ミカン年内総括

JA紀南は令和6年産温州ミカンの年内市場販売を12月末で終了し、年明けからは田辺地区の「越冬木熟」を中心に2月まで続く。極早生の1740トの販売量は前年の71%にとどまり、市場単価は327円で前年の120%だった。後続の早生早期出荷、12月の木熟・レギュラーとも極早生の流れを引き継いだ。生産者からは「思ったより無い」との声が多く、令和6年の夏の高温を象徴するように、気候変動の影響をもろに受けた。

市場販売量の極早生の主な内訳は、YN-26が124ト（前年比79%）、日南の姫が141ト（同70%）、日南1号が115ト（同69%）、上野早生が135ト（同63%）、ゆら早生が219ト（同63%）。

JAが12月4日に開いた木熟みかんの共同取材には、テレビや新聞記者など8社が訪れ、インターネットサイトでも配信された。対応した上富田町の森和也さん

（40）は「マルチ栽培で水分量の調節もでき、甘みが増し、酸味とのバランスの良いミカンができた。家族と一緒にこたつミカンで団らんしてほしい」と消費者にメッセージを送った。



マルチを敷き糖度も上がったと、木熟みかんを収穫する森和也さん（上富田町岡で）

86%。早生は11月の早期出荷が352ト（同58%）、12月のレギュラーが370ト（前年同日比71%）、年内販売の木熟が521ト（同64%）。極早生以上に早生の荷受量が伸び悩んだ。市場価格は年内通して前年の2割高程度で推移した。温州ミカンの生産量について指導部は、当初より下方修正した平年比8割程度とみているが、生産者からは生産減の要因についてさまざまな声が聞かれる。

5月の満開直後の曇天雨天で第一次生理落果が増加、カメムシの幼果への加害と落果、夏場の高温による日焼け果の多発、乾燥後の降雨による裂果の発生、収穫期のヤガによる果実の吸汁被害の多発など。これらの要因により、出荷量が

減少し、あわせて格外やジュース用が増え、正品率が低下したとの見方がある。12月には木熟みかんの市場販売を開始した。11月の販売対策会議でも取引市場から出荷量の確保を求める

声が相次ぎ、贈答や家庭需要で引き合いが強まった。JAは総合選果場の糖酸度センサーで選別し、糖度11%以上を「木熟黄箱」、12%以上を「木熟天」、13%以上を「木熟極天」、14%

以上を「木熟201」として市場に出荷した。「木熟天」で販売する糖度12%以上の市場価格は12月中、1ト600円程度で推移した。11%以下のレギュラー品も高単価へと引つ

張り上げられた。JAが12月4日に開いた木熟みかんの共同取材には、テレビや新聞記者など8社が訪れ、インターネットサイトでも配信された。対応した上富田町の森和也さん

（40）は「マルチ栽培で水分量の調節もでき、甘みが増し、酸味とのバランスの良いミカンができた。家族と一緒にこたつミカンで団らんしてほしい」と消費者にメッセージを送った。

### 常勤役員連載

## きずな



常勤 監事 山本 将史

### ふり返れば

就職して初めての勤務が中央会田辺支所でした。今居る事務所に4数年前も居たことを思い起こすと、なつかしさが込みあげてきます。当時は田辺・西牟婁地区に9つの農協があり、車で仕事に出かけました。1日では回りきれなかったことを覚えています。

当時の業務車両にはエアコン（その頃はクーラーでした）はなく、夏場は三角窓を調整しながら串本方面まで行くと汗まみれになるのが常でした。9つの農協にも事業規模の違いはありましたが、当時県内には50の農協があり相当な規模差がありました（職員が5、6人の農協もありま

した。業務は機械化されておらず大半が手作業であり、パソコンなどという文明の利器はなく事務作業は「手書き」「電卓・そろばん」が主流で、何をやるにも職場の人力に頼ることばかりでした。

そのため、こなす業務量は今とは雲泥の差があり生産性は低かったと思いますが、それでも50農協の経営が成り立っていました（古き良き時代がなつかしい）。私は50農協の頃からしか分かりませんが、さかのぼればもったなくさんの農協が地域に根付いていた頃もあったそうです。昭和63年に開催された和歌山県農協大会で「広域合併の推進・実現（8農協構想）」が決議され、今日の8JAに至ったのが平成26年4月（JA紀州の誕生）です。構想実現におおよそ30年近くかかっています。

そう考えると、平成30年の同大会で「県1JA」を研究することが決議され今日に至っているのは短兵急（たんべいきゅう）に感

じますが、迅速性や効率性といったスピード感が重視される今日的なあり方なのかもしれません。

♪コーヒーブレイク(箸休め)♪

前にも触れましたが、コーヒーにはまっています。生豆のこと、焙煎のこと、挽くこと、淹れること、全て奥が深いです。

自分のできるのは「挽いて淹れる」ことなので、おいしさを求めて本を読んだり講習を受けたりしましたが、「さわやかな酸味、心地よい苦味、なめらかなコク」などの風味がよく分かりません。でも、先日受講した講師の方が「自分がおいしいと感じるコーヒーがおいしいコーヒーです」とおっしゃられて、目からうろこが落ちました。

### 新しいJAに期待を

これまで8JAはそれぞれに独自性をもって事業を行ってききました。とりわけ、県内は果樹が主体とはいえ、地域によって主要な生産物が異なることから、組合員の皆さんの生業に大きくかわる営農経済事業運営は相当違いがあると思います。

合併を目前に控え「JA紀南は4月から一体どう変わっていくのか」「この先大丈夫か」と案じている方もおられると思います。でも安心してください。株式会社に変更するわけではなく、今ままでおり協同組合であることに変わりはありません。

皆さんはJAへの出資者（利用者）であり、運営者であり、事業の利用者です。これまでどおりJA運営に声を上げていただき、利用を結集いただければと思っています。

それに、「三人寄れば文殊の知恵」と言いますが、今回は8つのJAで培ってきた多様な視点や知識・経験が集まるわけですから、「文殊の知恵」となり、如何なる難問であっても最良の解決策が導かれると思っています。

合併まで残された期間は短く、万全の準備を整えることは難しいかもしれませんが、新JAになった後も組合員の想いを第一義としたJAづくりを第一義といたしますので、これまでと変わることなくJAの事業や活動に追加・参画いただけますようよろしくお願いいたします。

# 「農家の思いを感じる」

## ミカン狩り観光に516人受入れ 紀菜柑での買い物も楽しむ



園主の宮崎さんと交流しながらミカンを探るツアー客

JA紀南は12月2日から25日にかけて、紀南地方への観光ツアー客のミカン狩り体験を田辺市内で受け入れ、12回で516人が訪れた。参加者からは「甘くて美味しいだけでなく、果汁がぎゅっ詰まっていて農家の思いを感じる」との声が聞かれた。

ミカン狩りは「旬のおいしいミカンが食べられる」と人気でリピーターのツアー客も多い。株式会社トラベル遊のツアーに組み込まれ、芳養町の宮崎元樹さんのミカン園を案内した。

参加者はハサミを手に園地に入りミカンを袋いっぱい詰めた。「どれが美しいミカン狩りは「旬のおいしいミカンが食べられる」と人気でリピーターのツアー客も多い。株式会社トラベル遊のツアーに組み込まれ、芳養町の宮崎元樹さんのミカン園を案内した。

「おいしいかな」との声が園内のあちこちで響いた。宮崎さんからおいしそうなおミカンの選び方を教わって、採れたてを頬張っていた。

JAの直売所「紀菜柑」での買い物も楽しんだ。「ミカンってこんなに品種があるんやね」と話し、吟味して買い物カゴに入れていた。

新見訓子さん(64)は「農家さんがミカンの選び方を親切に教えてくれました。消費者のことを考えて作ってくれていると思えました」と話していた。果実に着いた白い粉も、「日焼け止め」に使う炭酸カルシウム資材です」との説明を受け、スッキリした様子だった。

### 梅干し食べよう2カ月間 108人でモニター検証

JA紀南と田辺市でつくる紀州田辺うめ振興協議会(会長 眞砂充敏 田辺市長)は令和7年1月1日から、紀州梅干しを108人のモニターに2カ月間、毎日1個食べてもらい、食欲増進や疲労回復など体調に関する変化を検証する「梅干し食べようプロジェクト」をスタートさせている。

協議会では、梅の消費拡大や新しい加工方法の開発、機能性の委託研究などに取り組んでおり、モニター検証もその一環。参加者は公募で決め、北海道から福岡の全国に散らばり、年代は40〜50が中心だ。

モニターにはJA紀南が製造した塩分7%の調味梅干し(まろの梅)を60粒渡しており、毎日食べてもらっている。「梅干し茶」のよう



梅干しモニターが毎日食べているJA紀南の「まろの梅」

にして飲むことも可能としている。期間終了後には、アンケートに答えてもらい結果を検証する。質問項目は、体重や腹囲の変化、インフルエンザや風邪等への罹患状況、食欲や疲労感の変化と自由意見も書いてもらう。

事務局の田辺市梅振興室の担当者は「6年の夏は猛暑日が連続し、残暑も厳しかった。そんな疲労が溜まりそうな環境下で紀州梅干しの需要も多かったと聞く。より多くの消費者に梅干しに親しんでもらい、健康増進に役立ててくれれば、プロジェクトの意味もあるだろう」と話している。



ミカンの試食をすすめる小谷さん(写真左)と前田さん

立ち、「木熟みかん201」の試食とPRを行った。

木熟201は、JA紀南の木熟201グループが生産する糖度14%以上の基準をクリアした選りすぐったミカンの最高峰ブランド。

生産者によるPR活動は毎年恒例で、今回は小谷グループ長と前田泰輔副グループ長が、埼玉の中浦和店と東京の新宿富久店の2カ所に出向いた。

### 関東でミカン試食販売 木熟201グループ

JA紀南の木熟201グループ(小谷真一グループ長)は12月14・15の2日間、生産者が関東地区で展開する「ヨークフーズ」の店頭にて試食販売を行った。

来店客は試食して、「家族や友人にも食べさせたい」と箱買いする人や、「美味しいと知っているのだから試食しなくても分かる」というリピーターもいた。若年層が購入する姿も見られた。

小谷グループ長は「試食で、生産者だと伝えると、さらに興味を示し、話が広がって買ってくれた。100パーセントの確率で美味し」と言っていた。価格を見て迷う人はほとんどいなかった」と話した。(販売部 販売課・山田嘉宣)

## JA青年部

### 「NISA」の勉強会開く 資産運用の選択肢の一つに

JA紀南青年部の長野・三栖・上富田の3支部は12月18日、中央営農経済センターで勉強会を開き、金融部の職員から少額投資非課税制度「NISA」について学んだ。青年部員24人が参加した。

青年部の支部間交流の一環で、部員から「NISAを知りたい」との声があったのがきっかけ。勉強会の後は懇親会を催した。

NISAは国民の資産形成を応援する国の税制優遇

制度。NISA口座では投資から得た利益に税金はかからない。令和6年には非課税投資枠の拡大や、非課税保有期間の無期限化などの制度改定が行われ、注目が集まっている。

JA紀南でも投資信託を取り扱っており利用が増えている。担当者は「いまの時代の資産運用で選択肢の一つになるだろう」と話した。

長野支部の那須智彦さん(37)は「普段は農業ばかりで金融の知識に触れることがなく、聞いて良かった。NISAに対する先入観も変わったので、前向きに検討したい」と話した。

NISAの他、融資課からは、利子優遇のある農業近代化資金や農業振興資金の案内もあった。

金融部の担当者は「青年部の皆さんには、資産運用はもちろん、農業の機械化やスマート農機の導入などで農業資金の借入れが必要なものもあると思う。ぜひJAに気軽に相談してほしい。他の支部でもこの

### 15人に修了証を授与 女性大学「きらっと」第13期

JA紀南女性大学「きらっと」(第13期)は12月13日、中央営農経済センターで第6回講座(最終)「閉校式」おもてなし料理を開き、13人が受講した。

今期は15人が7月からの6カ月間、食・農・健康について学んだ。閉校式では、



全6回講座をもって卒業した第13期生

受講生に坂本和彦専務から修了証と記念品が授与され、受講生から「全体を通して『食』『健康』について学び、日々の生活に取り入れます」「楽しく貴重な体験でした」との感想が聞かれた。

最終講座は、お正月にふるまえる「おもてなし料理」を6品作った。受講生からは「身近で手に入る食材で、さっそく今日は作ります」「レパートリーが増えました。」「楽しい」との声が聞かれた。

JAの担当者は、「女性大学への参加でJAや地域の農業を知っていただくことができ、よりAコープや紀菜柑を利用していただければ」と話している。



真剣なまなざしでNISAの解説を聞く青年部員

JA紀南と田辺市でつくる紀州田辺うめ振興協議会が植樹した梅の木がある。同神社と紀南の梅産地の交流を記念して植えたもの。令和6年12月21日には、当時植樹に携わった本田勉前組合長ら役員OBらが神社に出向き剪定と土づくりを行った。

梅は、南高、古城、小梅の3本。福男選びの参加者が猛烈な勢いでスタートする朱色の表大門の側に植えている。みなべ・田辺の梅システムが「世界農業遺産」に認定された直後の平成28年1月、本田前組合長らが出向いて奉納植樹した。

2年生苗の定植から丸9年になるが、砂地の土壌であり、紀南の慣行栽培に比べて徒長枝の発生は強くない。夏場の猛暑と干ばつを心配したが、神社によるかん水などの管理も行き届き樹冠は拡大していた。剪定も、競合枝は間引き、樹勢を落とさないよう切返しを多くした。表層には完熟堆肥を施した。

梅の木の背後にある土堀は「大練堀」といい国の重要文化財に指定されている。写真左後方の朱色の門は表大門。「2月は花見頃、早春の梅の花の香りが神社にただようだろう」とJA関係者も楽しみにしている。



福男選び、表大門の近く

### 西宮神社の梅を剪定

福男選び、表大門の近く

# 2月の農作業



## かんきつ

令和6年産のミカンは、夏の干ばつの影響で日焼け果が多く、雨が降った後の裂果も多かった。また、ヤガの被害が多かったことで腐敗果が多く発生した。高品質で安定した収量を確保するために改善できるところがないか、この時期に園内環境を見直し、春からの本格的な栽培管理に備えよう。

### ◆隔年結果の是正

木熟みかん園地等で秋肥の施用が遅れた園では樹勢にバラつきがあり、樹勢の維持や樹勢回復が重要になる。対策としては、暖かい日(12度以上)に葉面散布(尿素またはあざやか)を7〜10日間隔で3回以上散布し、春肥施用まで樹勢

維持を図る。

### ◆土づくり

地温が上昇し肥料の吸収率が上がる春先までに、土壌を健全な状態に改良するため、土壌改良資材を施用する。温州ミカンの土壌診断基準pHは5.0〜6.0の範囲である。土壌が酸性の場合は石灰質資材で中和させ、腐食資材であるアツミン等で肥料吸収率を向上させよう。乾燥しやすい園地では、パーク堆肥等の保水力のある資材の施用も効果的だ。

### ◆密植園の間伐・縮伐

最近では、改植により圃場整備がされ、植栽密度も改善されている。独立樹での栽培は、日当たりも良く収穫時に下垂した枝に着果した果実が増え、高品質な果実が期待できる。また、防除薬剤もかかりやすく秀品率や摘果、収穫の作業効率も向上する。

一方、密植園は、樹体が立ち気味になり、日当たりが悪いため下枝が少なくなる。果実は立ち枝に着果するため太い果硬枝になりやすく品質も低下しやすい。また、園内の通気性が悪くなるため、黒点病の感染源となる枯れ枝の除去を怠ると、防除効果が低下し、病害虫の発生原因にもなる。

間伐・縮伐を実施する場合は、減収する可能性も含め、2〜3年

で計画的に進めよう。

### ◆剪定

本格的な剪定は暖かくなる3月頃から始めるのが理想的だが、少しでも早く実施する場合は、南向きの園地から始める。

表年樹は予備枝の設定で新梢発生を促そう。裏年樹は、剪定期期を遅めにし、果硬枝の整理など間引き主体の軽い剪定を心がける。樹高を下げたり、立枝の除去等、枝の配置を見直すチャンスでもある。

### ◆「不知火」の収穫・予措・貯蔵

「不知火」は着果部位により品質が異なるため品質分析を行い、酸度が1.3%以下を目安に採果を進める。予措は貯蔵性を高め、糖度低下の抑制・減酸効果を高める効果があり、3%減量程度の予措を行う(収穫直後10%の重量を9.7%に減量する程度)。

袋掛けした果実は袋のまま収穫し、そのままコンテナで予措する。品質状況で長期間貯蔵する場合はタイベックシート等で覆うと良い。3月上旬中旬の室温が上昇する頃からは腐敗の発生に注意する。(芳養谷支所営農経済・左向政輝)

## 梅

2月は梅の開花時期で、この期間の天候は作柄に大きく影響する。

る。より良い交配環境をつくり、生産安定に向け最適な条件を整えておこう。

### ◆受粉対策

「南高」は、「南高」の花粉では結実せず、他品種の花粉で結実するため、親和性の良い受粉樹の混植が重要だ。受粉樹の混植割合は2割以上を目標とし、「南高」と隣接するような植栽が望ましい。

結果が不安定な園地では、混植割合を高めたり、受粉樹の高接ぎを行う等、受粉しやすい環境づくりを行う。受粉能力は開花直後から低下するため、開花時期のずれに対応できるように、2品種以上(小梅・小粒南高・NK14・星秀等)を園地にバランスよく混植することが望ましい。受粉樹の花枝をバケツや筒状の容器に入れて園内に設置することも効果がある。

### ◆交配用ミツバチの配置

梅の受粉にミツバチは欠かせない。交配用ミツバチの巣箱を、次の点に注意し計画的に配置する。  
①日当たりが良く、北風が直接当たりにくい場所に配置する(出入口は南向きの方が良い)。  
②雨水や土壌の跳ね返りが入らないよう、巣箱出入口をやや低くする等の配慮を行う。  
③園地に巣箱を設置した後は、回収までの移動は原則厳禁である

(ハチが帰巢できなくなるため)。  
④周辺に和バチ(地バチ)が配置されていないか十分確認する。  
⑤ミツバチの排せつ物で洗濯物や車が汚れる場合があるため、周辺の環境に十分配慮する。  
⑥イノシシ等が出没する園地では、巣箱を荒らされる可能性がある。園地または巣箱設置箇所をワイヤーメッシュで防護する等の獣害対策を行う。

⑦例年、ミツバチ巣箱の盗難等のトラブルが発生しているため、管理は十分注意する。  
⑧強風の園地条件では、ミツバチの飛来活動を促すため防風樹や防風ネットの設置等の対策を行う。

### ◆病害虫防除

開花期間中はミツバチ保護のため、すべての薬剤防除を控え、地域の巣箱引き上げ状況を十分確認してから防除を行う。  
(芳養谷支所営農経済・水池雄大)

## スモモ

### ◆病害虫防除

○ふくろみ病は、前年枝の芽や樹皮で越冬した胞子が伝染源になる。気温が低く雨が多い年に多発しやすい。防除薬剤は、トレノックスフロアブル(500倍・14日前まで・3回以内)に、アピオンE(1

000倍)を加用し、2月上旬にムラなく丁寧に散布する。ミツバチが活動中の隣接する梅園には十分注意する。  
(芳養谷支所営農経済・水池雄大)

## 水稲

### ◆土づくり

年内に荒起こしができていない場合は、2月中旬に耕起する。土壌改良材として10%当たり農力アツプ100kgとアツミン40kgを施用する。(串本支所営農経済・田中大介)

## 野菜

### ◆ウスイエンドウ(春採り)

○整枝  
整枝は太陽光の透過を良くすることで、収量の増加、病気の抑制、防除効果の向上が期待できる。1畝当たり25〜30本を目標に整枝する。枝葉の隙間からわずかに向こう側が見える程度に仕上げる。

### ○追肥

草勢が低下すると、サヤの肥大抑制や花数の減少の原因となる。追肥の時期は、基本的に1〜2番花が開花した頃と全体的に開花が最盛期を迎える頃の2回。そのため草勢を確認しながら施用することが重要となる。1回当たり尿素入りNK化成2号(10%当たり15%)を施用する。

### ○病害虫防除

・ナモグリバエ  
秋と春に発生するが、特に春の発生が多くなる。発生初期の防除が重要となるため、発生予測にピタットトルシーを10%当たり20枚程度設置し、防除時期の目安とする。  
・うどんこ病・褐紋病・褐斑病  
いずれの病害も過湿、密植、過繁茂で発生しやすくなる。また、うどんこ病は草勢が低下すると発生する。ため、風通しの良い環境づくりと草勢の維持に努める。防除薬剤は指導担当員に相談する。

### ◆ソラマメ

### ○整枝

選抜した主枝4〜5本を伸ばしていく。株元から発生するわき芽は主枝の充実を阻害するため、早急に切除する。

### ○摘花

生育が順調なら1節に5つ花が着く。上側の3花は摘み取り、下側

## UIターン就農相談フェア開催

県内で新たに農業を始めたいと考えている方を対象に、就農に関する様々な内容について相談をお受けします。また、過去に新規就農された方の話を聞くことができる「新規就農セミナー」も同時に開催しますので、お気軽にご参加ください。本フェアは事前予約を優先した上で、当日参加も受け付けます。予約については、二次元コードまたは就農支援センターのホームページより所定の様式をダウンロードし、郵送・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。



上記二次元コードからもお申し込み可能です。  
※参加無料です。

ご不明な点は、電話でお問い合わせください。

日時：令和7年2月22日(土) 10:00〜15:00  
場所：和歌山県JAビル2階 和ホールABC(和歌山市美園町5-1-1)  
申込期限：令和7年2月14日(金)まで  
申込先：(郵送)〒644-0024 御坊市塩屋町南塩屋724 (FAX) 0738-23-3489 (メール) e0716011@pref.wakayama.lg.jp  
内容：●就農相談(研修、資金、農地、雇用就農等) ●農林大学校進学相談 ●林業就業相談 ●移住相談 ●一部の市町担当者による各市町の支援や受入についての相談

### 新規就農セミナー(同時開催)

時間 ①11:00〜12:00 ②13:00〜14:00 場所 和ホールC

### 【お問い合わせ・申込み先】

和歌山県農林大学校就農支援センター(御坊市塩屋町南塩屋724) ☎0738-23-3488  
ホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071601/sintyakujuhou/index.html>

の2花を残す。株への負担軽減とサヤ肥大促進に摘花は早めにする。  
○追肥  
基本的には、開花始めと収穫開始直前の2回が施肥時期であるが、草勢を確認しながら施用することが重要となる。1回当たり粒状固形30号プラス(10%当たり20



記事に関するお問い合わせは、JA紀南ふれあい課（☎0739-25-5806）まで。新規会員も募集しています！

なかへち  
ブロック

子どもたちが収穫したお米を使い  
中辺路小5・6年生と料理楽しむ

女性会なかへちブロック栗栖川地区（山中京子地区長）と二川地区（安達ひとみ地区長）は12月4日、JA鮎川支所と協力し、中辺路小学校で5・6年生児童7人と一緒に料理を楽しみました。5年生はお味噌汁、6年生はコンビーフハッシュポテト、サラダ、ひじきの煮物を作りました。

当日はガラス鍋を使い、児童が稲作体験で収穫したお米の炊ける様子を見ながら調理しました。このほか、紀州田辺うめ振興協議会が提供した梅干しを使った「梅おにぎり」も作り、「梅干しがおいしい」「お米と梅干しがよく合う」などの感想が聞かれました。（ふれあい課・濱本和美）



支所と協力し児童の料理作りをサポート

白浜  
ブロック  
とんだ支部

手作りピザと豆腐ドーナツ  
南白浜小の児童とおやつ作り

女性会白浜ブロックとんだ支部（古和田五保枝支部長）は12月13日、南白浜小学校の児童14人とおやつ作りを楽しみました。毎年、地域の方との交流を大切にしようという小学校の依頼を受けて開催しています。今回は給食後の実習ということで、おやつ作りをしました。手作りピザのトッピングには地元野菜を使用し、2品のおやつを作りました。

児童からは「初めて生地からピザを作って楽しかった」「家でも作ってみたい」といった声が聞かれました。児童はもちろんですが、先生方も食への関心をもってくれており、この活動を続けていければと思います。（ふれあい課・南部仁美）



児童と一緒におやつ作りを楽しむ会員

すさみ  
ブロック

葉ボタンなど数種類の花で  
お正月用の寄せ植え作る

女性会すさみブロック（渡瀬道恵ブロック長）は12月16日、佐本公民館とすさみ支所でお正月寄せ植え教室を開き、あわせて29人が参加しました。

お正月向けに葉ボタンやパンジー、ストック等数種類の花を使った寄せ植えを作りました。事務局が葉ボタンのほか、ほとんどの花を昨年と同様に南部高校と熊野高校へ注文したことを説明すると、参加者は「昨年の寄せ植えもすごく長持ちしたから、今年も楽しみ」「パンジーもピオラも明るい色でいいね」などおしゃべりしながら、お正月らしい華やかな寄せ植えを完成させていました。（ふれあい課・西田愛美）



色とりどりの寄せ植えを作る会員

なかへち  
地区

地場産を使った手作りのしめ縄が人気  
岸和田市の市場を中心に1万本を出荷

JA紀南のなかへち地区では12月、正月用しめ縄づくりのシーズンを迎え、大阪府岸和田市の市場を中心に1万本を出荷した。稲わらやウラジロ、ダイダイなど地場産を使った手作り感あふれるしめ縄でAコープや直売所でも人気を博した。

JAの栗栖川集出荷場では12月中旬から約1週間かけて、毎日5、6人の女性が集まりしめ縄の仕上げ作業を行った。サイズも大・中・小とメガネの4種類があるが、自動車の正月飾りとして使うメガネの出荷数は少なくなったという。

20年以上のキャリアがあるという女性は、ダイダイの結び付けに力を込めながら、「縁起物として使っていただくので、丁寧に真心を込めて作っています」と話していた。



しめ縄にダイダイなどを飾りつける地元の女性ら

田辺市  
稲成町

品種は「まりひめ」、鮮やかに仕上がり  
イチゴ研究会としてJAに共同出荷

宮本 誠士 さん

田辺市稲成町の宮本誠士さん（37）は19㎡の鉄骨ハウスでイチゴを高設栽培しており、今年産の出荷を12月上旬から始めた。秋の高温で定植が遅れ、加温器の燃料が高騰するなどの苦勞が重なる中、収穫開始にこぎつけた。「6月までの長期間にわたって美味しいイチゴを届けたい」と話す。

宮本さんはイチゴを共同出荷するJAの稲成イチゴ研究会の会長を務める。今年産の会員は6人。和歌山県で生まれた県オリジナル品種である「まりひめ」に栽培品種を一本化している。出荷したイチゴは市場販売のほか、JAの「紀菜柑」にも並ぶ。

「色鮮やかで形の綺麗なイチゴに仕上がっている」と宮本さん。出荷ピークは3月上旬から4月中旬と見込んでいる。



鮮やかな赤色に色づいた「まりひめ」を収穫する宮本さん

田辺地区

地元田辺の野菜をもっと知ってほしい  
田辺支所前で続く女性たちの青空朝市

東部朝市会

昭和63年、当時の農協婦人部が神子浜会館で開いた朝市が形を変えて続いているのが東部朝市会の青空朝市。現在は5人が家庭菜園で育てた四季折々の自家野菜を出荷しており、採れたての新鮮な野菜が豊富に並ぶ。

「地元田辺で生産された農産物をもっと住民の皆さんに知ってもらいたい」。現在はJA田辺支所の駐車場で毎月第2・第4水曜に開いており、開店時から多くの来店客で賑わう。

メンバーの榎山亜基子さんは「出品中の野菜を使ったレシピもぜひ聞いてほしいです。市街地で規模は小さいけれども、真心込めて作った野菜を皆さんにお届けしています。皆さんのご来店を心からお待ちしています」と話していた。



開店時から大勢の来店客で賑わう青空朝市

## 2月の予定

- ◆金融事業
  - ◎総合相談会……………21日
  - ◎定期貯金キャンペーン（ネットバンキング、すこやか、すくすく、退職金、相続専用）…令和7年3月末まで
  - ◎定期積金キャンペーン（わんぱく、ふりかえ〜）……………令和7年3月末まで
- ◆共済事業
  - ◎子育て応援キャンペーン……………令和7年2月末まで
  - ◎一生涯サポートプラス〜保障確認編〜……………令和7年3月末まで
- ◆購買事業
  - ◎とんだ支所展示会……………4日
- ◆Aコープ紀南
  - ◎夕市……………1日（土）15時30分〜17時30分（デリシスイなり、COOK-GARDEN、APIA、あぜみち、VASEO）
  - ◎朝市……………15日（土）開店〜正午（デリシスイなり、COOK-GARDEN、APIA、あぜみち、VASEO）



**友だち募集中**

# JA紀南 LINE 公式アカウント

Aコープの特売セールや紀菜柑のイベントなどお得な情報をお届け！

令和七年 お正月もよろしくお祈り申し上げます



2月

## 無料相談会

弁護士 税理士 による

法律や税金・相続に関する事など個別にご相談いただけます。

【日時】2月21日（金）午前9時〜正午  
【場所】JA紀南本所（田辺市朝日ヶ丘24-17）  
【お申込み・お問い合わせ】JA紀南金融課（電話0739-23-3516）※電話予約が必要となります。

エス ディー ジー ス

# SDGs

今月のピックアップ!

JA紀南のSDGsへの取り組み



本誌「女性大学」の「第13期生」が全回の講座を修了し卒業しました。

**SDGsの目標**

4 質の高い教育をみんなに

JA紀南の女性大学「きらっと」では7月からの6カ月間、第13期生が料理や防災などについて学んできました。卒業となる最終講座では、簡単おせち作りを楽しみました。

質の高い教育

JA紀南 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JA紀南は事業や活動を通じてSDGsに取り組んでいます。

# 農業塾 開講のお知らせ

第14期

■募集対象者 JA紀南管内に在住で、農業の初心者や農業を学んでみようという意欲のある方。JAの組合員又は組合員に加入いただける方。

■募集人員 15名程度（最少催行人員10名）※募集人員以上の申し込みがあった場合は、抽選とさせていただきます。

■受講期間 令和7年3月5日〜11月19日

■受講料 5,000円 ※但し、組合員に加入いただける方は別途一口（1,000円）以上の出資金が必要です。※後日、「入塾申込書」提出時にJA紀南指導部までご持参ください。

■開催場所 中央営農経済センター、とんだ育苗センター ※なお、会場への移動は各自でお願いします。

活動時間は全講座とも、午前9時〜正午までです。

■応募方法 往復はがきに、①住所、②氏名、③受講希望人数（はがき1枚で2人まで）を記入のうえ、下記までお申し込みください。  
〒646-0028 田辺市高雄三丁目22-19 JA紀南指導部  
※電話での申し込みはお受けできません。

■締め切り 令和7年2月12日（水）※締め切り当日の消印有効

■抽選結果 返信はがきで令和7年2月20日（木）までに発送お知らせします。

詳しくは、JA紀南 指導部(0739-25-5720)までお問い合わせください。



**旬** イチゴ まりひめ

ビックアップ

紀菜柑発！  
四季菜  
直売所 かわら版

JA紀南ファーマーズマーケット「紀菜柑」より、旬情報をお届け！1月から2月はポンカンやイチゴなどのフルーツをはじめ、レタスやブロッコリーなどの野菜類、スイセンやツバキなどの花類も豊富に並びます。

和歌山県生まれの「まりひめ」は、「章姫」と「さちのか」を親にもち、甘味が強く適度な酸味とジューシーな味わいが特徴です。名前は和歌山の「紀州てまり」のように親しんでほしいと公募で決まったとのこと。イチゴにはビタミンCが多く含まれ、5〜6粒で1日の必要量が摂取できるといわれます。

1月から2月にかけての地場産入荷予定(一部)

 ポンカン	 レタス	 スイセン
 レモン	 ブロッコリー	 ツバキ

※天候等により入荷時期が異なる場合があります。

あなたの推し鍋 みつけてね!



シイタケ  
ネギ  
ハクサイ

味噌鍋・トマト鍋・麻婆鍋などさまざまな種類をご用意!! 地場産の野菜とお好みのスープで体を温めましょう。  
※陳列商品は随時異なります。

地場産野菜が勢ぞろい!

エコープマーク品  
塩こうじパウダー



素材のうまみを引き出し、ラーメンやローストビーフ、コロッケやプリンなど幅広い料理にお使いいただける万能調味料です。使いやすい粉末小袋タイプです。

レシピはこちらから

巻 節分は 恵方巻で

西南西



今年節分は4年ぶりに2月2日（日）です。Aコープではサラダ巻や海鮮巻、伊達巻などの恵方巻を種類豊富にご用意しております！具が贅沢にぎっしり詰まったAコープの恵方巻を頬張りながら今年も吉を願いましょう。  
【実施期間】令和7年2月1日（土）・2日（日）  
【実施店舗】VASEO・デリシスイなり・COOK-GARDEN・あぜみち・APIA・熊野古道なかへち・あゆかわ・熊野古道ちかつゆ・たなみ

JA店舗部 おすすめ  
Aコープ からあげ人気ランキング

1	むね塩唐揚げ
2	ごちそう竜田揚げ
3	国産生姜使用の唐揚げ
4	さくまチキン
5	ヤンニョムチキン

kumica ポイントをためてお得に買い物を楽しみましょう!

JA公式LINEで お得情報を配信中!



### 簡単副菜 梅ごま和え (くずし豆腐と水菜の梅ごま和え)

- ①梅干しは種を取り、潰しながら、ごまと混ぜる。
- ②豆腐はキッチンペーパーに包んで水分を絞る。
- ③①と②と2〜3cmに切った水菜を混ぜ合わせ完成。

- 材料(2人分)
- ・木綿豆腐 150g
  - ・水菜 1/2株
  - ・梅干し 1個
  - ・白炒りごま 大さじ1

POINT  
豆腐の水切りはお好みの方法でもOKです。

J A インスタ企画  
#梅料理しか勝たん4 入賞者提供 Vol.04  
**梅料理レシピ紹介**

令和6年の7月〜8月にJA紀南の公式インスタグラムで開催した、梅の料理写真コンテスト「〜#梅料理しか勝たん4〜」で100点の応募作品の中から入賞したレシピ10点を順次紹介します。



## あなたもチャレンジ! 家庭菜園

### ナス 長い期間の収穫を楽しむ

園芸研究家 成松次郎

ポットの底から出そうなくらい、しっかりと張っているもの。市販苗が若苗の場合、一回り大きいポットで1番花が咲くまで育てましょう。

#### 【畑の準備】

植え付け2週間前に1平方メートルあたり苦土石灰100gをまいて耕しておきます。1週間前に幅100×120cmの栽培床を作り、中央に深さ20cmの溝を掘り、溝1本あたり化成肥料(NPK各成分10%程度、200g)と堆肥2、3kgを施し、よく混ぜておきます(図1)。

#### 【植え付け】

遅霜の恐れのないゴールデンウィークが適期で、1条植えでは株間60cmとし、ポリフィルムでマルチをして地温を上げておきます。

#### 【誘引・整枝】

植え付けと同時に仮支柱を斜めに挿して株を支え、1番花の下から出る勢いの良い2本の側枝を残し、他はかき取ります。その後、1以上の支柱2、3本を交差させて固定します(図2)。

#### 【追肥・灌水(かんすい)】

収穫が始まる頃からマルチの底から出る強い側枝2本を残し、下の脇芽は全て取り除く。

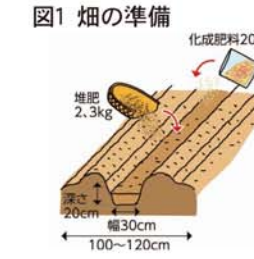


#### 【病害虫防除】

アブラムシ類、ハダニ類にはマラソン乳剤など、テントウムシダマシにはスミチオン乳剤などで防除基準に従って防除します。

#### 【収穫】

開花後20日程度つやのある若い果実を収穫します。



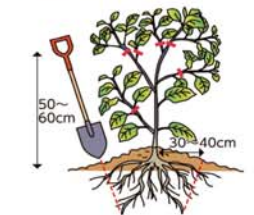
#### 【3本仕立て】



#### 【草勢の判断目安】



#### 【更新剪定】



No.58 県内JAリレー企画

## いちご農園

(紀の川市)



「めっけもん広場」の近くにあるイチゴ狩り農園

栽培しているので楽に収穫することができます。品種は和歌山県のブランドイチゴ「まりひめ」です。甘味が強くて程よく酸味もある、ジューシーなイチゴを味わえます。「めっけもん広場」でショッピングの行き帰りに立ち寄るのもおすすめです。

所在地 紀の川市豊田413の2。

交通アクセス 電車の場合JR打田駅から車で8分。車の場合は京奈和自動車道紀の川ICから県道7号経由2分(約5分)。25台分の無料駐車場あり。

開園期間 1月26日から5月中旬の土曜日曜・祝日。

開園時間 午前9時〜午後3時。最終受付は午後2時30分。

料金 中学生以上2500円、小学生1500円、幼児(3歳以上)1000円。0歳から2歳までのお子様は無料。4月以降は500円引き。

問い合わせ JA紀の里営農部イチゴ狩り担当 (電話)090・6200・8346。

(JA紀の里発信)

recommended recipe  
Chef Nagai's

## シエラポ井のおすすめ



永井智一(ながいともかず)  
茨城県立開成市にある「天晴キッチン」オーナーシェフ

- ### 作り方
- ① タイのあらに塩を振って1時間置き、沸騰した湯に入れ霜降りする。同様にタイの切り身も霜降りしておく。ダイコンは2cm厚に切り、面取りして下ゆでしておく。セリはざく切りにする。
  - ② 水に①のタイのあら、ネギ、ショウガの皮、だし昆布、ローリエ、料理酒を入れ沸騰させ、あくを丁寧に取り除きながら中火で1時間ほどスープを取る。
  - ③ ②のスープをこして塩、薄口しょうゆを入れ、①のタイの切り身とダイコンを入れ、弱火で30分ほど味を含ませる。
  - ④ ③のダイコンをスープから取り出し、オリーブ油を入れ中火で熱したフライパンで両面に焼き色を付け器に盛る。同じフライパンに③のスープを100ml入れ、強火で半分に煮詰めて①のセリを入れる。
  - ⑤ ④のダイコンの上に③のタイの切り身をのせ、④の煮詰めたスープとセリをかけて出来上がり。

### りんご釜のバニラアイス



- ### 作り方
- ① リンゴの釜を作る。紅玉をふたと器に切り分け、器部分は種周辺を丸くくり抜き、塩水に漬けてから水気を拭き取る。フライパンに無塩バターを入れ、中火で器の切り口側に焼き色を付け、グラニュー糖とシナモンを回しかける。
  - ② オープンを200度に熱し①の紅玉のふたと器を10分ほど焼く。崩れないように傾合いを見て取り出す。
  - ③ 熱いうちに器部分にバニラアイスを入れて、ふたをのせ、イチゴ、黒豆を飾り出来上がり。

### 焼きダイコン タイのスープで



- ### 材料(4人分)
- タイのあら 適宜  
(頭、中骨など・スーパーで購入可)  
タイの切り身 4切れ  
ダイコン 1/2本  
セリ 適宜  
ネギ(青い部分) 1本分  
ショウガの皮 適宜  
だし昆布 1枚  
ローリエ 1枚  
料理酒 100ml  
塩 小さじ1/2  
薄口しょうゆ 小さじ1/2  
水 3L  
オリーブ油 大さじ1/2

### 材料(1人分)

- リンゴ(紅玉) 1個
- 無塩バター 大さじ1
- グラニュー糖 大さじ1
- シナモンパウダー 小さじ1/2
- バニラアイス(市販品) 適宜
- 黒豆(市販品) 適宜
- イチゴ 1個

# 人権の詩

こころのうた  
2023  
入賞作品の紹介

理事長賞(優秀賞)  
中学生の部

和歌山市立  
貴志中学校1年

榎本 竜弥さん

「お年寄りを大切に」  
ぼくのおじいちゃんは耳が聞こえにくいので  
補聴器を付けている。  
ぼくのおばあちゃんは目が見えにくいので  
手術をしている。  
ぼくは、おじいちゃんとおばあちゃんの近くに座り  
少し大きな声で話してみよう。



(公財)和歌山県人権啓発センター  
\*学校名・学年は応募当時のものです。写真はイメージです。

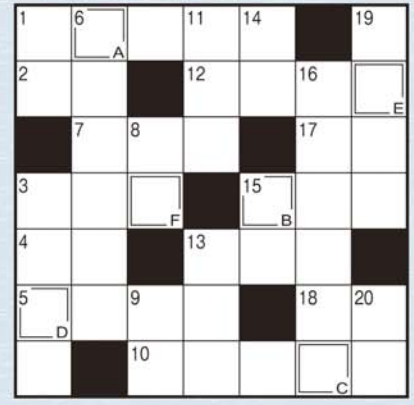
## JAカレンダー2025 作者紹介



2月 豊作を願う 田辺市中三栖で  
山本 早苗さん(田辺市朝日ヶ丘)  
梅の花の写真は毎年、三栖の方面に撮りに行くようにしています。風はまだ冷たい時期ですが、力強く咲いた花弁に早春を感じます。この日は、たまたま地面に咲いていた紫色の花と共演する様子を低い位置から狙いました。家は理髪店をしていますが、毎週の休みには決まって、主人と一緒にカメラを手に車であちこちをグルグルと回るのが楽しみです。

## クロスワード パズル

Q.二重マスの文字をA~Fの順に並べて  
できる言葉は何でしょうか?



### 【ヨコのカギ】

- 2月14日に職場などで配る人もいます
- リンゴの品種。青森県北東部に同じ名前の市があります
- 天気が崩れて——が強まった
- 寒い日にはこりやすくなる人も
- 節分にイワシの頭を刺して飾ります
- 紅茶の茶葉とお湯を入れます
- 熱心に後輩を指導する、——のよい先輩
- 看護師——ともいうナースステーション
- 和歌山県には奈良県と三重県に囲まれた——があります
- 不利の反対語
- 古代インド発祥のエクササイズ
- じゅうたんを敷く所

### 【タテのカギ】

- 教育・勤労・納税は国民の三大——です
- 気仙沼の名物、サメの加工品
- さいころや角砂糖はこの形
- 封書を数えるときに使う言葉
- キラキラ光る——入りのセーター
- 風を受けて水上を進みます
- 地銀よりも規模が大きめ
- といて炊きます
- 水で洗い物をするとかじかむことも
- 多くが九州で作られている酒
- こ、これぐらい平気だい!
- チョコがはさみならパーは

### 1月号の答え ゲイシュン



## 読者の声

クロスワードパズル応募などでいただいた本誌の感想やJAへのご意見などを按捺・編集し、地区名、氏名(ペンネーム、匿名)とともに紹介します。

- 毎回、楽しく読んでます。寒くなってきました。レシビ参考になります。(田辺市・50歳匿名希望)
- 「合併したらどう変わる?」の記事、とてもよく分かりました。(田辺市・川村さつきさん)
- いつも紀南誌を楽しみに全部読ませてもらいます。やはり話題になって、書かれている方皆さん、広報担当の皆さん尊敬します。(田辺市・片岩とき子さん)
- 大切に育てたミカンが初めて色づきました。農家の皆さんの苦労が感じられる1年でした。(串本町・新田まつ子さん)
- 梅料理レシビ紹介の鶏肉

- この時期、県外の実家に行くときJA紀南のミカンを探してしまいます。この前コープこうべで「天」ちゃんみかん(勝手に呼んでみません)が売り場に並んでいて、しかも残り2袋!すごくうれしかったです。JA紀南産の農作物が全国に広がってほしいです。これからはイチゴの「まりひめ」も楽しみ!(串本町・59歳匿名希望)
- 新春福袋、買ってみたいですね!(上富田町・山本愛実さん)
- JA栗栖川出張所へ行き、タマネギの苗を注文しました。早生タイプと中晩生タイプが、どちらがこの地域で育てやすいかなどアドバイスをしてくれて、菜園初心者には助かる情報

- 和歌山でまだまだ知られていない、ちょっととした秘境や映える場所とか知りたいたいと思います。(上富田町・福田清美さん)
- 行事ごとを見るのが楽しみです。いつも楽しく読ませていただいています。(田辺市・坂本健児さん)
- 令和7年は年女なので、良い年にしたいです。(上富田町・栗田夕記子さん)
- クロスワードパズルをいつも皆で楽しくやっています。(白浜町・岩城トシ子さん)
- 祖母の家が紀菜柑の近くなので紀菜柑をよく利用させてもらいます。おばあちゃんがバナナを置いてほしいと言っています。いつもありがとうございます。(白浜町・栗原茉莉子さん)

- JA紀南の表紙のベッピンさん、15%減量とはすごい。かなり意志が強いですね。すばらしい。現状維持できるように頑張れ!(串本町・谷口好布さん)
- 新春座談会では皆さまの合併後のJA、日々の営農に携わる真摯な情報に感謝し励まされます。(田辺市・廣畑真規子さん)
- いつも読んでます。農作業の記事がよかったです。(白浜町・福田廣さん)
- 毎月、広報誌が届くのを楽しみにしています。表紙の若者の笑顔でほっこり。ページをめくると内容の豊富さに編集の方々の努力が伺えます。編集部の方々が好きです。今後どうか私(読者)を楽しませてください。感謝いたします。(田辺市・67歳匿名希望)
- JAカレンダー作品紹介「雪帽子」の花の名前「シヨウジョウカ」と聞きました。写真を見て、うれしく思いました。改めて、花を大事にします。(田辺市・76歳匿名希望)

## 読者プレゼント



【パソコン・スマホから応募】  
下記アドレスに答えと住所・氏名・年齢・電話番号と本誌の感想や要望、JAへのご意見等を書いてお送りください。  
Eメールアドレス  
kouhou@ja-kinan.or.jp  
⇒右のQRコードからも送信可

※ご意見の一部を本誌で紹介することがありますので、お名前を希望されない方はハガキ、メールとも「匿名希望」とお書きください。

締め切り：1月31日  
(ハガキは当日消印有効)

【ハガキでの応募】  
下記を参考にご応募ください。

〒646-0027  
JA紀南広報係  
田辺市朝日ヶ丘24-17

①クロスワードの答え  
②住所・氏名・年齢・電話番号  
③本誌の感想や特集してほしいコーナー、またはJAへの意見等

(ハガキ表面) (裏面)

## いきいき熱中人

### ミニ額を地元の郵便局などに展示

習字で四字熟語が書かれた物を見て、季節を感じる物を作れないかと思い、ミニ額を作り始めました。

納豆のフタに包装紙や封筒を貼って土台を作り、新聞やカタログの挿し絵を貼って作ります。仕上げに蝶々と水引を付けて完成です。

完成したミニ額は地元の郵便局などに展示しています。写真の作品は、友だちから葛飾北斎の浮世絵のイラストをいただいて作ったもので、46枚あったのでそれぞれつなぎ合わせて作りました。

朝日新聞に掲載された今村翔吾さんの小説に使われていた挿し絵が好きなので、今回はそれらをつなぎ合わせた作品を作ろうかなと思っています。

白浜町中

東

百合子さん

82歳



## お母さんといっしょ!

田辺市湊

おおた

太田 まどかさん かなちゃん(6カ月)

しゅうや  
充哉くん(2歳)

### 「お調子者で内弁慶」、おもちゃの車が大好きだよ

元気いっぱい、おもちゃで遊ぶのが大好きな充哉くん。お気に入り黄色のショベルカー。好きな食べ物はお魚で、お父さんが釣ってきてくれたグレが大好きなんだ。特に煮つけがとっても美味しいんだよ。

もう階段もひとりで行けるし、こけても自分で立ち上げられるよ。最近は何でも自分でできるんだ! 昨年7月に生まれた妹のかなちゃんのためにも、かっこいいお兄ちゃんになるよ。  
《お母さんの話》いっぱい食べて大きく元気に育ってね。



## JA職員紹介



朝来支所 水井 翔哉さん

渉外担当として、組合員・利用者の皆さまの支えになれるような対応を心掛けています。沢山の方に声をかけていただける職員になれるよう頑張ります。

休日は実家から近いことをきっかけに小学生からはじめた釣りに今も没頭しています。

とんだ支所 西萩 浩一さん

共済事務を担当しています。組合員や利用者さまのお話をよく聞いて対応するように心掛けています。

野球観戦が好きで、4~5年前までは甲子園へ観戦に行っていました。最近は自宅で観戦することが多いです。



中央SS 中岡 鉄治さん

燃料やオイルの配達を担当しています。冬場は特に忙しく、上秋津から新庄までと範囲も広いですが、配達先のお客様から「いつもご苦労様です。ありがとうございます」と感謝してもらえた時は、とてもやりがいを感じる瞬間です。



# ふれあい広場

## うちのペット



小福くん(♂:オス)

飼い主: 田辺市中三栖 栗栖和也さん

家族4人で名前候補を書いた紙飛行機を一齐に飛ばし、一番長く飛んだ「小福」の名前。好物はおやつ「ボーロ」で生後6カ月で5kgまで成長しました。

来客が来ると家中を駆け回って喜び、人懐っこい元気の源です。

## JA青年部

尾崎 俊隆さん(37歳) 日置支部

### 管理面積を広げて効率よい作業を

他界した父の跡を継いで就農し4年目です。今は母と2人、「南高」を中心にパープルクーンなど梅を約3畝栽培しています。気候の変化に左右されたりと難しさはありますが、栽培管理の仕方が何となく分かってきたこともあり、少しずつ農業の楽しさを感じるようになってきました。

決まった休みはないですが、勤めながら休日に手伝っていた頃を考えると、工夫次第で時間を捻出できるようになった気がします。面積を広げて効率的に作業していくためにも、老木園の改植を徐々に進めていきたいです。趣味は釣り、目標は2kg以上のアオリイカをいつか釣りあげることです。



## 元気です!



田辺市中辺路町小皆

やす子さん(85歳)

### マッサージと畑仕事が元気の源

工場勤務の仕事を退職後、40歳の時にマッサージの免許を取って「小山治療院」を開業し、今も元気に頑張っています。やっぱり「楽になったよ～」と言われてうれいすね。ついつい、バスで出会った乗客の人にも「凝りを取ってあげたい」との思いから、声をかけてマッサージをしてしまうことも。

毎朝6時半から1時間散歩をするのが日課で、治療の予約が無い時には、畑で仕事をするのが楽しみです。タマネギやハクサイ、レタスなど季節ものの野菜に加え、キクやコウヤマキといった花木も育てています。JAの紀菜柑やAコープの直売所「こどういち」にも出荷しており、皆さんに喜んでいただけることがやりがいにつながっています。